



株式会社 躍進

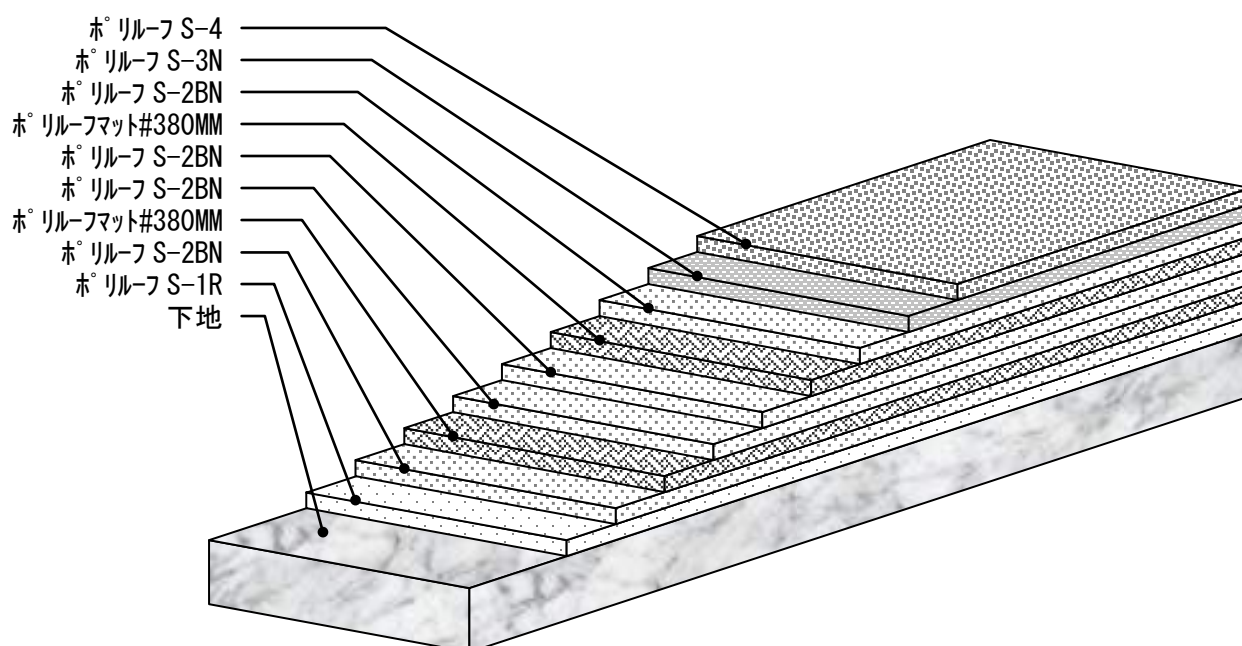
木造住宅バルコニー防水

**ポリルーフ MPS-4 工法
(改修仕様)**

1. 工 程

ポリールーフMPS-4工法

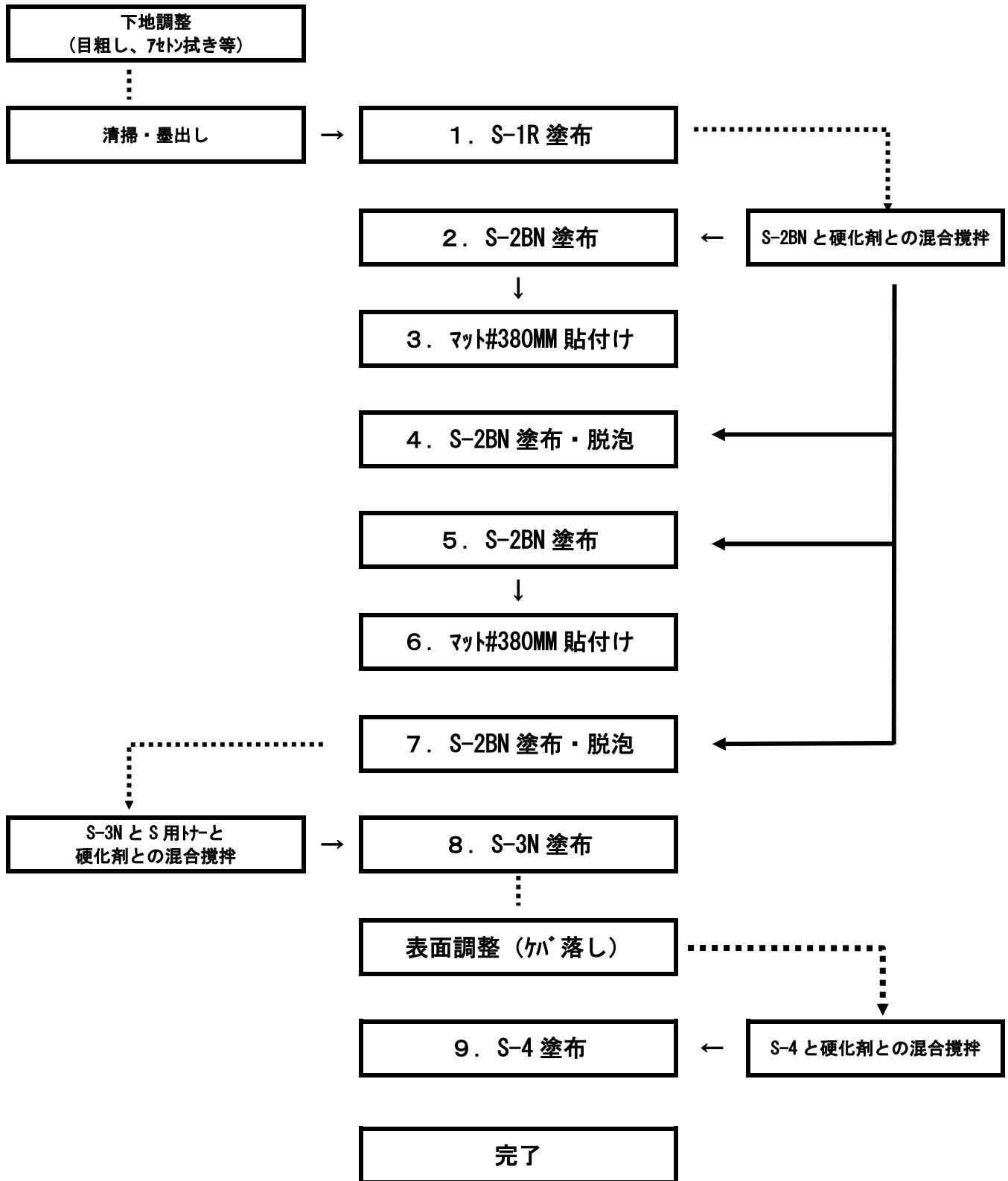
工 程		品 名	標準量 ／ m ²	摘 要
—	下地処理		—	目粗し、アセトン拭き
1	プライマー	ホ [°] リールーフ S-1R	0.15 kg	
2	下塗り	ホ [°] リールーフ S-2BN	0.7 kg	
3	ガラス基材	ホ [°] リールーフ マット#380MM	0.38 kg	
4	下塗り	ホ [°] リールーフ S-2BN	0.7 kg	
5	下塗り	ホ [°] リールーフ S-2BN	0.7 kg	
6	ガラス基材	ホ [°] リールーフ マット#380MM	0.38 kg	
7	下塗り	ホ [°] リールーフ S-2BN	0.7 kg	
8	中塗り	ホ [°] リールーフ S-3N	0.4 kg	S用トケ [°] 混合
—	表面調整	—	—	ケ [°] 落とし (ハ [°] -ハ [°] -がけ等)
9	トップコート	ホ [°] リールーフ S-4	0.4 kg	



2. 製品構成

分類	品名	成分	用途	荷姿	液性
プライマー	ホリフ S-1R	一液ウレタン樹脂	ウレタン・FRP 層間用プライマー	16kg 缶	1
	ホリフ S-1DA	ビニルエステル樹脂	金属部用	1・4・18 kg缶	2
下塗り	ホリフ S-2BN	不飽和ポリエステル樹脂	FRP 積層用 (木造バルコニー用)	20kg 缶	2
中塗り	ホリフ S-3N	ビニルエステル樹脂	中塗り用	16kg 缶	2
	ホリフ S 用トナー	着色剤	中塗り樹脂用	0.7kg 缶	—
トップコート	ホリフ S-4 骨入り、骨なし	不飽和ポリエステル樹脂	トップコート層用	ケレ 20kg 缶 (標準色)	2
ガラス基材	ホリフ マット#380MM 両耳 (MM タイプ)	無機ガラス繊維	防水用ガラス基材	76m 巻	—
硬化剤	ホリフ 硬化剤	メチルメタクリレート	ハテ、S-2BN、S-3N、S-4 共通硬化剤	1kg・5kg ホリ缶	—
ハテ	ホリフ M ハテ	不飽和ポリエステル樹脂	一般用	4kg 缶	2
その他	ホリフ 専用ソナー	アセトン	ローラー等器具の洗浄用	16L 缶	—
	面木	木製面木 プラスチック面木	入隅面取り用	15△1800mm/本	—
	オーバーフロー管	塩ビ・FRP 製	オーバーフロー防止用	25mm φ	—
	縦引きドレン	FRP 製	縦引き用	—	—
	横引きドレン	FRP 製	横引き用	—	—
	縦引きドレン用目皿	ステンレス製	縦引き用	—	—
	横引きドレン用目皿	ステンレス製	横引き用	—	—

3. MPS-4工法 フローチャート (改修仕様)



→ (連続工程)

4. 施工手順

下地処理

既存FRP下地の表面を十分に目粗しした後、アセトン拭きを行う。

1. 第一層
プライマー塗布（ポリルーフS-1R）

- ① S-1R を標準 $0.15\text{kg}/\text{m}^2$ ロール又は刷毛にて均一に塗布する。
※プライマー可使用時間：約2時間
可使時間以内であっても樹脂の粘度が高くなったものは使用しないで下さい。
※吸い込みの激しい場合は再度塗布して下さい。
※プライマー塗布後3時間以上放置しないで下さい。
3時間以上あいた場合は、下地の表面が7~8割露出されるまで表面を目粗しして下さい。清掃後、再塗布して下さい。

2. 第二層
下塗り (ポリルーフS-2BN)

- ① プライマーの指触乾燥を確認してから次の工程に移る。
- ② S-2BN を標準量 0.7kg/m²として、ポリバケツに必要量入れる。
施工者数、面積に応じて調整する。
- ③ 硬化剤を混合攪拌する。
硬化剤の添加量は、<表-1>、<表-2>を参照
- ④ ローラーにて均一に塗布する。
- ⑤ サツを設置する面台へ巻き込む。

<表-1>

硬化剤 樹脂	0.8%	1.0%	1.5%	2.0%
1kg	8g	10g	15g	20g
5kg	40g	50g	75g	100g
10kg	80g	100g	150g	200g

<表-2>

夏タイプ 可使時間 (分)				
硬化剤 \ 温度	20℃	25℃	30℃	35℃
0.8%	85	65	48	38
1.0%	65	45	35	30
1.5%	45	32	23	18

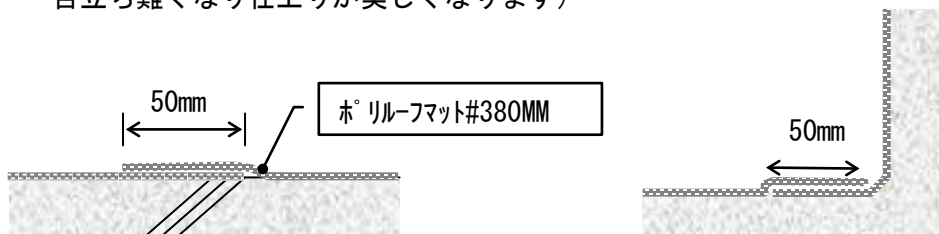
春秋タイプ 可使時間 (分)				
硬化剤 \ 温度	15℃	20℃	25℃	30℃
0.8%	95	65	45	30
1.0%	70	45	30	20
1.5%	50	30	20	15
2.0%	32	20	13	10

冬タイプ 可使時間 (分)				
硬化剤 \ 温度	5℃	10℃	15℃	20℃
1.0%	63	43	30	20
1.5%	42	30	23	15
2.0%	25	20	15	10

※上記可使時間はあくまで目安であり、保証するものではありません。

3. 第三層
ガラス基材 (ポリルーフマット#380MM)

- ① 連続して次の工程に移る。
- ② 事前に割付けカットしたマット#380MM をしわのよらない様に敷き込む。
- ③ マットの重ね巾は 50mm 以上取る。
(重なりあう部分のマットの末端を手でちぎった状態にしておくと、マットのラップが目立ち難くなり仕上がりが美しくなります)



4. 第四層
下塗り (ポリルーフS-2BN)

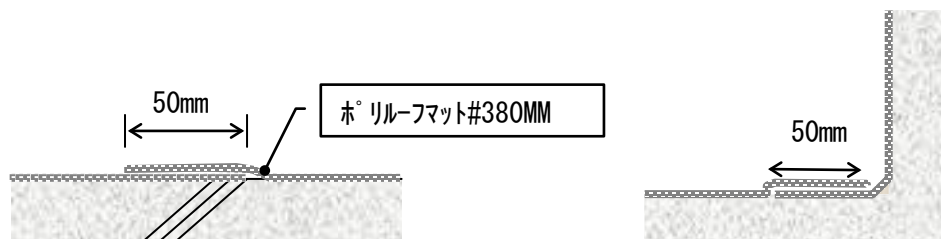
- ① 連続して、次の工程に移る。
- ② S-2BN を標準量 $0.7\text{kg}/\text{m}^2$ として、ポリバケツに必要量入れる。
施工者数、面積に応じて調整する。
- ③ 硬化剤を混合攪拌する。
硬化剤の添加量は、〈表-1〉、〈表-2〉を参照
- ④ ロールにて均一に塗布する。

5. 第五層
下塗り (ポリルーフS-2BN)

- ① 連続して、次の工程に移る。
- ② S-2BN を標準量 $0.7\text{kg}/\text{m}^2$ として、ポリバケツに必要量入れる。
施工者数、面積に応じて調整する。
- ③ 硬化剤を混合攪拌する。
硬化剤の添加量は、〈表-1〉、〈表-2〉を参照
- ④ ロールにて均一に塗布する。

6. 第六層
ガラス基材 (ポリルーフマット#380MM)

- ① 連続して次の工程に移る。
- ② 事前に割付けカットしたマット#380MM をしわのよらない様に敷き込む。
- ③ マットの重ね巾は 50mm 以上取る。
(重なりあう部分のマットの端末を手でちぎった状態にしておく、マットのラップが目立ち難くなり仕上がりが美しくなります)



**7. 第七層
下塗り (ポリーフ S-2BN)**

- ① 連続して、S-2BN を標準量 0.7kg/m²として、ホリパケツに必要量入れる。
施工者数、面積に応じて調整する。
- ② 硬化剤を混合攪拌する。
硬化剤の添加量は、<表-1>、<表-2>を参照
- ③ ローラーにて均一に塗布し、スクイローラーもしくはスチールローラーで発生した泡を脱泡する。
(上記要領にて 30 分～1 時間で硬化がはじまります)
※工程間隔が夏期で 1 日以上、春秋期で 2 日以上、冬期で 3 日以上あいた場合は
次の処理を行って下さい。
表面目荒らし→アセトン拭き→S-1X 塗布。その後、次の工程に移って下さい。

**8. 第八層
中塗り (ポリーフ S-3N)**

- ① S-3N に事前に S 用剤を重量比で 3～5%程度 (S-3N 1 缶に対して S 用剤 1 缶)
添加し混合攪拌する。
- ② 事前に S 用剤を混合した S-3N に硬化剤を混合攪拌する。
硬化剤の添加量は、<表-1>、<表-3>を参照
- ③ 標準 0.4kg/m²ローラー又は刷毛にて均一に塗布する。

<表-3>

夏タイプ 可使時間 (分)				
温度 硬化剤	20℃	25℃	30℃	35℃
0.8%	110	80	60	45
1.0%	70	50	40	30
1.5%	55	37	27	20

春秋タイプ 可使時間 (分)				
温度 硬化剤	15℃	20℃	25℃	30℃
0.8%	95	75	55	40
1.0%	60	45	30	23
1.5%	45	32	20	15
2.0%	30	20	13	10

冬タイプ 可使時間 (分)				
温度 硬化剤	5℃	10℃	15℃	20℃
1.0%	130	90	60	40
1.5%	80	55	36	25
2.0%	30	20	13	10

※上記可使時間はあくまで目安であり、保証するものではありません。

表面調整

- ① 中塗り硬化後、表面が^レ落しを行う。
- ② 清掃

**9. 第九層
トップコート (ポリルーフS-4)**

- ① 表面調整後、次の工程に移る。
- ② S-4 に、S-2BN、S-3N よりやや多めに硬化剤を混合攪拌する。
硬化剤の添加量は、<表-1>、<表-4>を参照
- ③ 標準 0.4kg/m²をローラー又は刷毛にて均一に塗布する。
- ④ 立上り部→排水溝→土間部と順に塗布する。

<表-4>

夏 ^{タイプ} 可使時間 (分)			
硬化剤 \ 温度	20℃	25℃	30℃
0.8%	35	30	27
1.0%	30	25	20
1.5%	20	17	13

春秋 ^{タイプ} 可使時間 (分)			
硬化剤 \ 温度	15℃	20℃	25℃
1.0%	35	27	20
1.5%	30	22	15
2.0%	23	17	10

冬 ^{タイプ} 可使時間 (分)			
硬化剤 \ 温度	5℃	10℃	15℃
1.0%	60	45	27
1.5%	45	33	20
2.0%	35	25	12

※上記可使時間はあくまで目安であり、保証するものではありません。

(施工後 24 時間以上養生し完了)



価値ある「安心・空間・環境」を創造する

株式会社 躍進

- 本 社 〒337-0043 埼玉県さいたま市見沼区中川 106-1
TEL 048-(688)-3388 FAX 048-(680)-7615 E-meil yakushin-no1nifty.com
- 東京営業所 〒107-0062 東京都港区南青山 2-2-8 D Fビル 2F
TEL 03-(6804)-2541 FAX 03-(6804)-2542

※本施工マニュアルは平成 29 年 3 月現在のものです。予告なく内容を変更する場合がありますので、
その際は関係係員までお問い合わせ下さい。